

議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

令和 3 年度事業報告書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

1. 事業実施の報告

東日本大震災から 11 年目となりました。本年は昨年度の新型コロナウイルスの影響もある程度鎮静化していくものと期待をしながら、地域の振興と活性化の再出発の年とする考えでおりました。

しかしながら、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大とそれらの対策としての人流抑制、外出自粛、営業時間短縮や自粛の影響により、地域のイベント関係がほぼ中止や縮小となり、道の駅よつくら港として計画しておりました活動計画もほぼ中止や縮小という結果となりました。

また感染防止対策として、継続した対策に加えて新たな対策の実施も余儀なくされ、コストアップの一因となりました。

そういった中で「ほっきまつり」については、感染予防対策を強化しながらも無事に実施することができ大変な好評をいただきました。

(1) 農林漁業による地域の活性化を図る事業

① 海山味寄港について中止となりました。

奥会津の三島町等といわき・四倉との交流祭りとして、毎年 11 月に実施しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

② ほっきの PR「ほっきまつり」の実施。

原子力発電所の事故により、水産業の生産者は風評被害に苦しまされている中、道の駅よつくら港交流館直売所において、6 月から翌年 1 月まで 8 カ月連続して行い、地産地消・消費拡大を図りました。



議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



(2) まちづくりに関する他団体、行政、企業等との活動提携による地域活性化事業

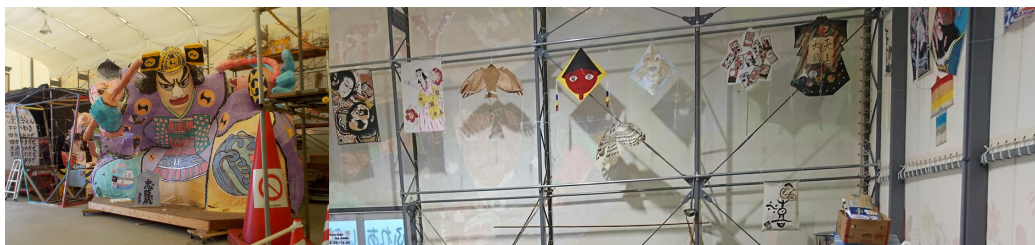
① 明日をひらく人づくり事業「海と山の冒険隊」については中止。

② 地域間交流事業「雪国交流事業」については中止。

いずれも新型コロナウイルスの感染防止対策により中止とさせていただきます。

③ 東日本大震災遺児孤児支援事業

東日本大震災による遺児孤児や被災地域の子供たちを対象に保護者、地元地域社会の中で遺児孤児を育む拠点施設を建設し、保護者の方々、学校の先生方、地元の皆さんと一緒に、未来を担う子どもたちを暖かい愛で育み、子どもたちを支援することを目的として、遺児等への支援活動を継続して行うための施設「親子体験テント」「ねぶたの展示コーナー」「凧の展示コーナー」の維持管理を支援いたしました。



④ 東日本大震災 3.11 祈りの集い事業の支援

令和 4 年 3 月 11 日、東日本大震災の追悼慰霊祭を道の駅よつくら港にて執り行いました。千葉県市原市の有志の方からのお花もいただき献花台を設置いたしました。

内田市長も献花され、午後 2 時 46 分には多くの方と共に追悼を行いました。



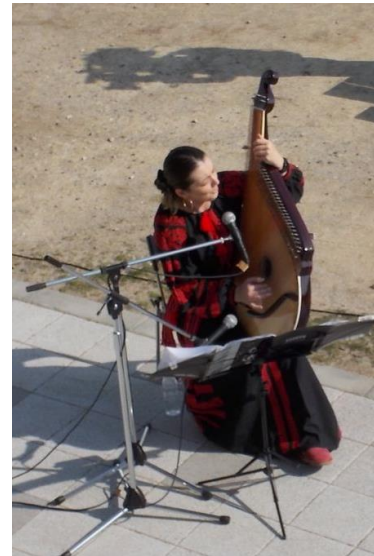
また当日の午後には、東日本大震災後から長きにわたり福島に心を寄せて、音楽活動をしているウクライナ出身のカテリーナさんのバンドウーラ演奏が行われ、我々を

議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

思い、そして祖国ウクライナを思いながら素敵な音楽を届けてくださいました。

(理事長より浄財をお渡しいたしました。彼女の祖国のために、少しでもお役に立ちますように)



⑤ その他、まちづくり、地域活性化活動への参画

5 月開催の四倉諏訪神社例大祭での子供みこし、7 月開催の四倉ねぶたといわきおどりの夕べ、8 月の四倉鎮魂復興花火大会、については、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

【地元施設への贈呈】

地元四倉町内にある福祉施設を訪問し、別の地元施設で加工販売しているお菓子類を贈呈いたしました。地域経済の好循環につながる小さな活動ですが末永く続けられるよう頑張っています。



(3) 道の駅よつくら港の運営

道の駅よつくら港はおかげさまでリニューアルオープンから 10 周年を迎えることとなりました。これまでの間、会員の皆様をはじめ、地域の皆様には心より感謝申し上げます。

議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

2 階フードコートにおいては、海見えるカウンター席の設置と、季節ごとの新メニュー効果は着実に出ております。新型コロナウイルス対策として感染拡大防止策を徹底いたしました結果、前年度から来場者増となりました。

【消毒液・除菌噴霧器】



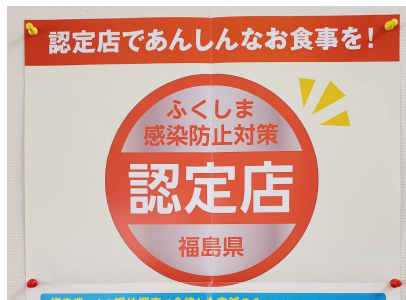
【カウンターにビニールシート】



【座席ごとに仕切り板】



【ふくしま感染防止対策認定店】



1 階直売所においては、地元の新鮮野菜果物、地元産品、お弁当の拡販に努め、他の同業者との差別化を意識した活動を実施いたしました。

販売促進活動としては、インターネットの有料広告機能を活用した PR 効果により、売上増の効果がみられようになりました。



また、新型コロナウイルス対策として感染拡大防止策を徹底いたしました結果、前年度から来場者増となりました。



顧客満足度向上対策としては、引き続きアンケート用紙を継続し、直売所・フードコート別に具体的な評価と要望事項を把握できるようにし、その結果は毎週一回集約しております。

議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

合わせてインターネット上でのクチコミ、評価の情報収集と相手方への返信活動も積極的にいき、その結果はテナント・従業員全員に回覧掲示し毎月の店舗会議を通じて改善活動につなげました。

パートタイマー従業員の多い当法人としては、人手不足の中において働き方改革の法令遵守と高齢者の積極的な雇用を並行し、子育て世代の従業員が働きやすいシフトの作成等を考慮し推進してまいりました。

(4) まちづくりに関する公共施設の管理、運営事業

① 道の駅よつくら港漁港施設管理業務委託

道の駅よつくら港漁港施設の維持管理に努め、安定した施設管理と環境美化活動を推進しました。

② 道の駅よつくら港情報館指定管理

道の駅よつくら港情報館はいわき市から委託され、道の駅利用者の利便性と情報提供を図ってきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
農林漁業による地域の活性化を図る事業	海山味寄港 他 ホッキPR	R3. 6. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	6人	いわき市 内外	12
まちづくりに関する 他団体、行政、企業 等との活動提携による 地域活性化事業	明日をひらく人づくり事業他	R3. 10. 1 ～ R4. 2. 28	東京都 港区 三島町	10人	いわき市 内外	0
	その他事業	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市	20人	いわき市 内外	0
まちづくりに関する 公共施設の管理、運営 事業	道の駅よつくら港 漁港施設管理業務 委託	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	5人	いわき市 内外	3,542
	道の駅よつくら港 情報館指定管理	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	3人	いわき市 内外	8,575
まちづくりに関する 広報誌、情報交換、 情報発信事業	ホームページ、イベント等の交流 広報活動	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	2人	いわき市 内外	0

議案第 1 号

令和 3 年度(第 13 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
物品の販売事業	道の駅よつくら港 交流館直売所	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	6 人	いわき市 内外	185, 191
施設管理運営事業	道の駅よつくら港 交流館	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	いわき市 四倉町	10 人	いわき市 内外	25, 164

3 損益の概況

(1) 特定非営利活動に係る事業

特定非営利活動に係る事業におきましては、年々助成金事業の支給打ち切りや縮小の傾向が進んでおりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となる事業が多く、ほとんど活動を行うことができませんでした

そのような環境下において、今後も安定して事業を継続するために、さらなる会員の拡大の一方、活動事業自体の「選択と集中」「実施方法の見直し」が不可欠であると考えます。

(2) その他の事業

その他の事業におきましては、道の駅よつくら港の運営事業の安定収益確保の主力事業である道の駅よつくら港の安定利益創出が最大の使命であり、今後も新型コロナウイルスの影響の程度がどのぐらいになるのか、予測不可能な状況の中ではありますが、売上拡大策・コスト改善策の両輪で経営活動を行って参りました。

売上拡大策としては、弁当や地元野菜果物、その他商品の販売拡大策の実施と、フードコートの特徴を PR した集客増をインターネットを通じた販促活動と連動し継続して取り組みました。

IT 補助金を活用し通信販売事業に取り組むことといたしておりましたが、昨年度は新型コロナウイルス対策に追われ十分な取り組みができませんでした。

内部管理体制の強化対策としては、毎月の店舗会議や顧客満足度アンケート内容の情報共有化を通じたテナントとスタッフの経営参画意識の向上を継続いたしております。

(3) 損益の結果

上記の活動の結果、経常収益は 240, 456, 644 円(前年度 234, 670, 082 円 2. 4%増)、当期正味財産増減額は 6, 996, 169 円(前年度 6, 451, 724 円 8. 4%増)、次期繰越正味財産額は 40, 710, 129 円(前年度 33, 713, 960 円 20. 7%増)となりました。